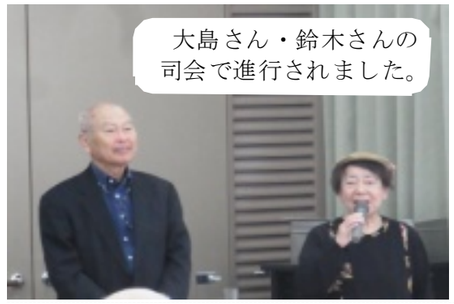
ユズリハ だより

メール air-tokyo@herb.ocn.ne.jp　94号

2016. 3.20 (№94)

東京公害患者と家族の会
文京区大塚4-2-11
恩田ビル304
TEL03-6912-1656　FAX03-6304-1418
ぜん息110番
03-6912-1657

第38回 患者会・原告団 合同総会



3月5日（土）東京労働会館7Fラパスホールにて、第38回合同総会が開催されました。

昨年は、「国求にめる新たな救済制度」の根拠となる「全国患者実態アンケート」に取り組みましたが、夏以後の後半はアンケートの集約と解析を待つこととなりました。

２００７年に裁判が解決した後も休みなく行動を続けてきた患者のみなさんは、行動提起のない時期には、物足りない思いに駆られる方もおられた様です。

全国の取り組みなので

国に求める救済制度は「全国患者の会連合会」としての取り組みなので、全体が一致して動くのに時間を要します。また、東京都や川崎市のように自治体独自の助成制度のある地域とそうでない地域は、温度差があります。

やはり、薬代が高い

総会に参加されたみなさんには、待ちかねた「全国患者実態アンケート」の解析結果を、東京経済大学尾崎准教授にしていただきました。左の表は何らの認定も受けていない未救済患者に絞った回答をまとめたものです。

未救済患者の実態

☆ **医療費のことで悩みや不安を持つ患者が50%！**
毎月の医療費が1万円以上・家計大きな影響が

☆ **「受診抑制」「薬の節約」をした人が40%！**
病院に行く回数を減らす・薬の量を減らして飲む

☆ **仕事に悪影響・収入が減った23%失業6%**
人生設計がくるったり、生活保護の申請をした人も

☆ **「月に2.51回通院」**
ぜん息等の症状で通院する回数

☆ **「20代～60代で発病多い」**
診断を受けた年齢は働きざかり世代が多い

☆ **「緊急受診565人・入院252人」**
全体の1～2割がここ一年以内で緊急受診や入院の経験ある

私たちも医療費助成の認定を受ける前は、同じような体験がありました。ぜん息等の病気は、病気の苦しさも辛いものですが、医療費の高額なことが患者をより苦しめていることが上記の表より明確になります。

生きている限り続く医療費負担です。

医療費の事で悩みや不安を持つ患者が多いのは、予想通りでした。診察代よりお薬代が高くて困るとの書き込みも多くみられました。

予定とお知らせ

3月

26(土) 東京保険医協会総会懇親会
26(土)～27(日)　公害弁連総会
29(火) 足立区公健法対応について回答15:00～
30(水) あおぞら連絡会常任理事会　10:00～

31(木) 首都圏救済懇　10:00～
〃　総行動事務局会議　13:30～

4月

2(土) ＮＯ2測定報告集会　13:00～
3(日) 三役会議　11:00～　幹事会14:00～
5(火) 弁護団会議　10:00～
6(水) 大気連13:30～全国事務局会議
オーフツ条約シンポ　18:00～
9(土) 旅行会準備
10(日) 患者会バス旅行〈福島・母畑温泉〉
18(月) 風の会 10:30～　弁護団会議18:00～
19(火) あおぞら連絡会総会　18:30～
20(水) 事務局会議　10:00～

次々回三役会　５月８日（日）11:00～
次々回幹事会　５月８日（日）14:00～

医療券 更新手続き忘れずに！

２年に一度、お誕生月の２か月前には、更新手続きのための書類が送られてきます。

書類が届いたらできるだけ早く手続きをしてください。

更新を忘れると「失効」します。医療費が全て自己負担になります。

◎かかりつけの医師に、主治医診断書を書いてもらう。
◎保険証のコピーを忘れずに。
◎わからない場合は、遠慮なく患者会に連絡してください。

第８回道路連絡会

日時　５月19日（木）13:00～
会場　南部労政会館

参加と傍聴をお願いいたします。
沿道緑化・自転車道等まだ未整備な所があります。地域から生の声による要求をしてください。
☆参加・傍聴の申し込みは事務局へ

あおぞら連絡会　総会

日時 ４月１９日（火）18:30～
会場 東京労働会館(ラパスホール)地下

※日頃から患者とともに活動をし、特に地域に根ざした課題に取り組んでいただいています。３月５日の患者会総会決議を受けて、一年間の方針を討議します。